

授業科目 臨床実習Ⅰ（検査・測定）

【担当教員名】 栗生田 博子 他		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	3	時間数	135
【概要・一般目標：GI0】 <概要> 病院・施設見学を行い、理学療法士の職場環境を理解する。また、臨床実習指導者の管理下において患者様や施設利用者の方に検査・測定を実施する。 <一般目標> 患者様やご家族、病院・施設職員などに接する際の基本的態度を理解し、実践することにより、将来理学療法士となるための資質を研鑽する。 学内で習得した知識・技術をもとに患者様・施設利用者の方の協力を得て検査・測定を実施し、病態を把握する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 保健・医療・福祉の分野の連携を理解する。 2. 病院や施設における理学療法士の役割や他職種との関係を学び、理解する。 3. 職業倫理を学び、対象者の方の状況に配慮した適切な基本的態度を実践できる。 4. 理学療法の基本的な評価手技を対象者に即して実施し、その結果に基づいて身体状況を推察することができる。 5. 実習した内容を適切に記録し、まとめを報告することができる。					
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	実習前オリエンテーション		1-3	講義及び演習を含む、担当：栗生田 博子 他	
2	グループワーク、面接実習		1-5	講義及び演習を含む、担当：栗生田 博子 他	
3	各施設での見学		1-5	各施設臨床実習指導者	
4	学内演習		1-5	講義及び演習を含む、担当：栗生田 博子 他	
5	各施設での検査測定実習		1-5	各施設臨床実習指導者	
6	実習後セミナー		1-5	学科全教員	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	概説理学療法	嶋田智明（編）	文光堂	2009・5,000円＋税	
	臨床実習とケーススタディ	鶴見隆正（編）	医学書院	2007・4,700円＋税	
その他の資料	臨床実習の手引き				学科資料（オリエンテーション時に配布）
【評価方法】 出欠、グループワーク、面接実習、セミナー発表、レポート提出および臨床実習状況を総合的に評価する。		【履修上の留意点】 臨床実習Ⅰの履修基準を確認すること。			